

暮れていく

映像学科
高山隆一

Kureteiku

Department of Imaging Art
TAKAYAMA Ryuichi

解説

映画の一般的特徴としてカット構成による「時空間の飛躍」が挙げられる。所謂「カット百年」の例えである。しかし、その成功を目指すには多額の費用や時間が制作に必要なことも事実である。

経済的な効率を上げるために単一の場所設定、短時間、少人数の制作工程が必要である。本作では自主制作がいかに負荷を小さくすることでその完成を目指したかを試みたものである。作品設定を最小限に抑え、より内容面での質的確保を狙えるか。

但し、映画が演劇と比べより現実性を基盤に求めることも事実である。本作品では具象としての映画的表现と空間の抽象性を帯びた演劇的效果を狙いとしたとも言える。

「暮れていく」採録シナリオ

脚本・監督・・・高山隆一

結花子・・・島 侑子

哲夫・・・川龍石俊平

○結花子のアパート

ダンボールが二、三個置いてある。

ベランダで結花子が外を眺めている。

哲夫が部屋の中で大の字になっている。

哲夫「ねえちゃん、呼ぶ相手は俺じゃないからな。」

結花子、振り向いて部屋に入ってくる。

哲夫の腹をふさげて踏みつけていく。

結花子、胡坐をかく。

結花子「戻ってきた敷金で何か食べに行こうか？」

哲夫「それより貯金だろ、できちゃった婚なんだから。」

結花子「できちゃった婚ねえ・・・」

哲夫「後悔してるの？」

結花子「ごっだか」

結花子も大の字になる。

結花子、急に哲夫に覆いかぶさる。

両手を掴んでいる。

結花子、じっと哲夫を見る。

哲夫、取すかしそうにしている。

結花子「哲夫、かっこいいじゃん。」

哲夫「ね、ねえちゃんもけっこういいよ。」

結花子、上半身起き上がり

結花子「産む勇氣と産まない勇氣だってぞ。」

哲夫「何それ？」

結花子「何たるね？」

結花子立ち上がる。

哲夫も起き上がる。

見下ろす結花子。

見上げる哲夫。

結花子「やっぱり、い飯行こう。」

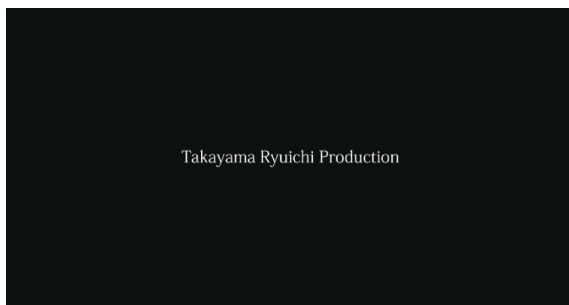
哲夫「ああ・・・」

二人身交度始める。

(5分)

フルHD作品

スチリオ作成



1



6



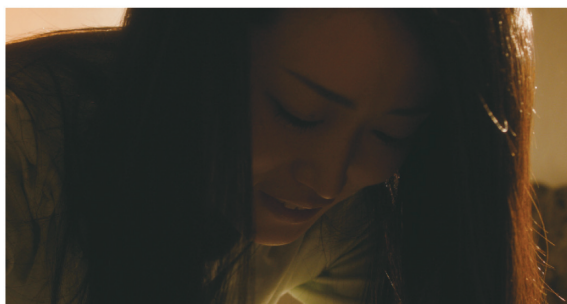
2



7



3



8



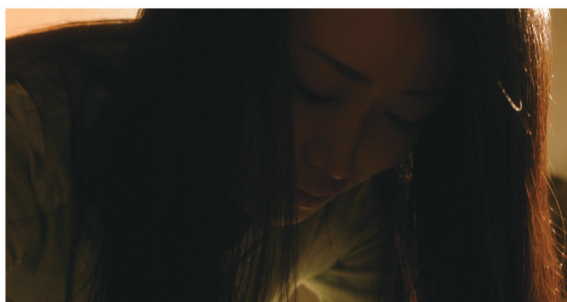
4



9



5



10



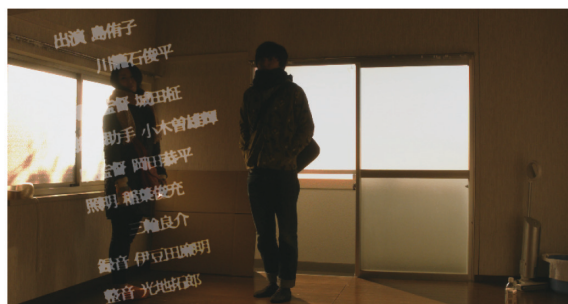
11



16



12



17



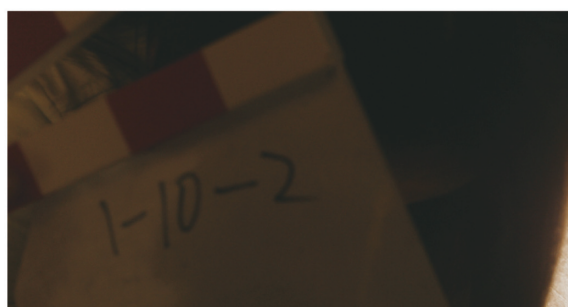
13



18



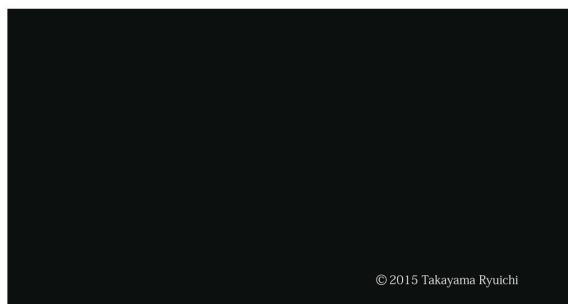
14



19



15



20